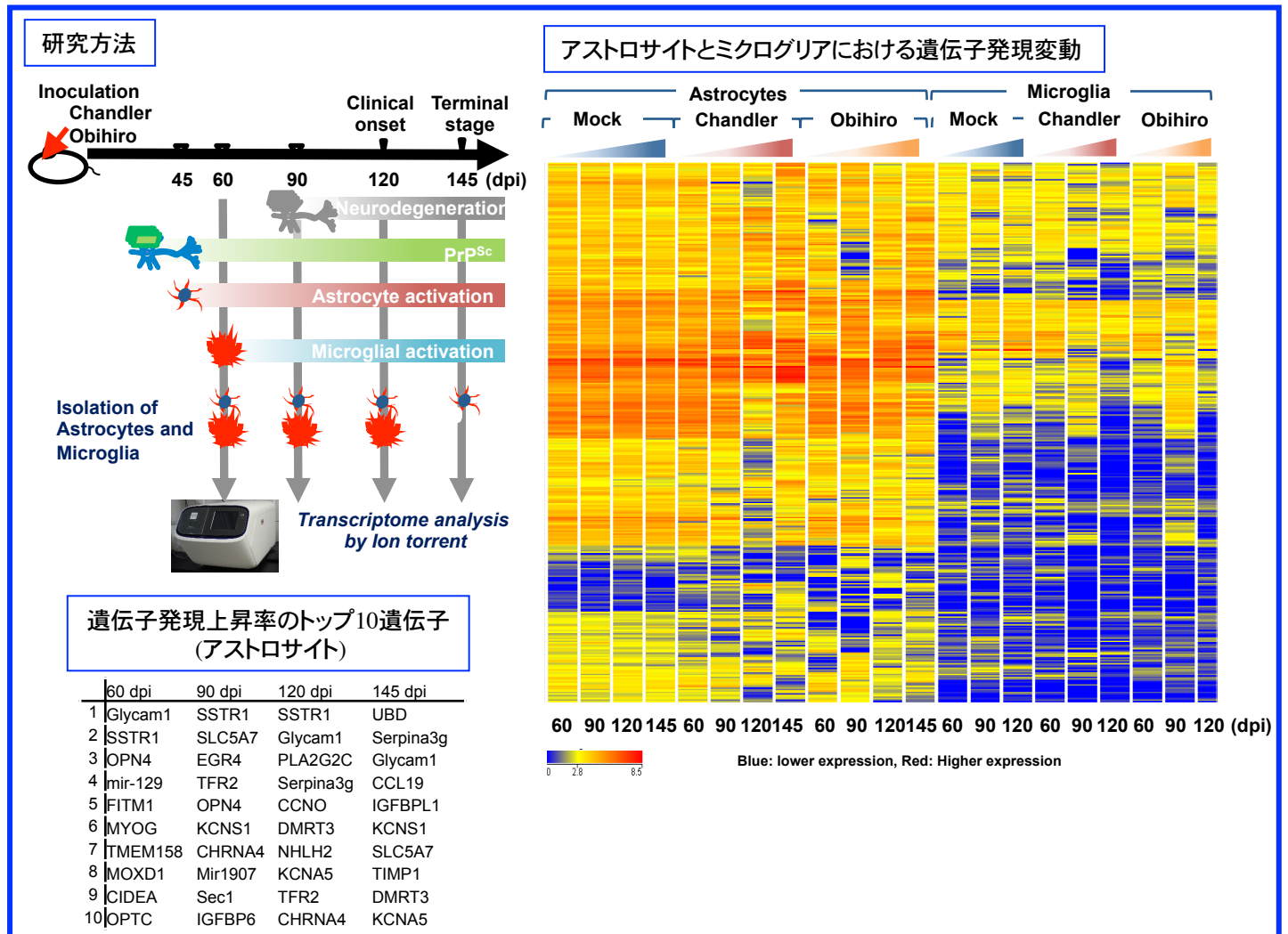


## プリオン病の病態機序におけるグリア細胞の役割の解明

研究開発分担者： 北海道大学大学院獣医学研究科 堀内基広



## 解説

1. プリオン接種後経時的（接種後60, 90, 120, 145日）に採材したマウス脳から、免疫磁気分離法（MACS）により、アストロサイトおよびミクログリアを分離し、次世代シーケンサーで遺伝子の網羅的発現解析を実施した。
2. アストロサイトおよびミクログリアで発現変化を示す遺伝子を絞り込んだ。
3. アストロサイトで発現上昇率の高い順に遺伝子を並べ、トップ10を示した。